

事業名	水処理センター維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局	予算中事業名	会計	下水道	事業計画	単年度繰り返し
	課	下水道課		款		新規or継続	継続事業
	係	下水道維持係		項		市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	522	名称	根拠法令、条例等	目	義務or任意	任意の事業
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	H27	実施方法
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり		終了年度	-	事業分類
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理				施設維持管理事業

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	公共下水道終末処理場である佐野市水処理センターが正常に機能するよう施設の維持管理を行う。 対象施設：佐野市水処理センター（南部幹線場内ポンプ場及び場内マンホールポンプ場を含む）
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市水処理センターの正常な機能を確保する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		終末処理場の放流水質基準値適合率	%	100	100	100	100	100

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・水処理センター等包括的維持管理業務委託：1件 施設の運転操作、電気・機械設備等の保守点検、小規模修繕等 ・放流水等の水質管理 ・下水汚泥等の廃棄物処理 ・更新工事：6件 (令和4年度からの繰越2件、令和6年度への繰越2件を含む) ・修繕工事：2件	活動指標	単位	R3	R4	R5
		年間処理水量	万㎡	1,659	1,664	1,659
		年間汚泥発生量	t	4,216	4,792	4,886
		事業費計	千円	514,247	611,827	571,625
		一般財源	千円	412,889	486,486	457,877
		特定財源（国・県・他）	千円	101,358	125,341	113,748
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	設備の保守点検等の実施により、重大な故障に至る前に異常を発見し、修繕等を実施したため、正常な機能を確保し放流水質基準にすべて適合することができた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		終末処理場の放流水質基準値適合率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果は変わらない	効果が上がった	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用の増減無し	○		
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果は変わらない					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

物価や人件費等の上昇、設備の老朽化等により、事業費が上昇傾向である。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	水処理センターの適切な運転管理や設備の保守点検等を実施することにより、早期に異常を発見し、適切に修繕・改築を実施するなど、水処理センター施設の機能確保及び放流水質の適正管理に努める。

事業名	中継ポンプ場ストックマネジメント事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算科目	会計	下水道	事業計画	単年度繰返し
	課	下水道課		中継ポンプ場ストックマネジメン		款		新規or継続	継続事業
	係	下水道維持係		ト事業		項		市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	522	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意の事業
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	下水道法、佐野市下水道条例・施行規程	事業期間	開始年度	R2	実施方法	一部委託
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、中継ポンプ場施設の計画的な点検・調査及び改築・修繕を実施する。また、改築工事と並行して、土木・建築構造物の耐震対策を実施する。 対象施設：高萩中継ポンプ場、秋山川中継ポンプ場、伊勢山中継ポンプ場
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	設備の突然の故障や機能停止といったリスクを回避し、設備の長寿命化が図られることにより、中継ポンプ場の正常な機能を確保する。
-------------------------	---

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
ポンプ場の重大な故障件数	回	0	0	0	0	0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・中継ポンプ場改築工事：1件（令和4年度からの継続工事） 秋山川中継ポンプ場：沈砂池及びポンプ設備、電気計装設備更新 伊勢山中継ポンプ場：沈砂池設備、電気計装設備更新 ・ストックマネジメント計画策定：1件（水処理センターストックマネジメント事業にも計上） ※設備群数とは、まとまった機能を発揮するために必要な設備の集合体（電気設備も含む）を指す。例：除塵設備、除砂設備
--------------------------	--

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
改築更新済設備群数（累計）	群数	0	0	1
耐震対策済施設数（累計）	施設	0	0	0
事業費計	千円	16,575	127,500	207,440
一般財源	千円	4,975	20,900	11,390
特定財源（国・県・他）	千円	11,600	106,600	196,050
（うち受益者負担）	千円	0	0	0

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	重大な故障に至る前に改築工事等を実施したため、正常な機能を確保することができた。 秋山川及び伊勢山中継ポンプ場の改築工事が完了した。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
ポンプ場の重大な故障件数	回	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果は変わらない

※ 10万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった	○	
費用の増減無し		
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

物価や人件費等の上昇、設備の老朽化等により、事業費が上昇傾向である。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 佐野市公共下水道ストックマネジメント計画（第２期）に基づき、計画的な改築工事や耐震対策工事の実施に向けて検討する。
--	---

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年8月9日

事業名	中継ポンプ場維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局	予算中事業名	予算科目	会計	下水道	事業計画	単年度繰り返し
	課	下水道課			款		新規or継続	継続事業
	係	下水道維持係			項		市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	522	名称	根拠法令、条例等	目		義務or任意	任意的事業
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	S55	実施方法	一部委託
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり		終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	中継ポンプ場施設（3箇所）が正常に機能するよう施設の維持管理を行う。 対象施設：高萩中継ポンプ場、秋山川中継ポンプ場、伊勢山中継ポンプ場
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	中継ポンプ場の正常な機能を確保する。
-------------------------	--------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
ポンプ場の重大な故障件数	回	0	0	0	0	0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・中継ポンプ場運転操作 ・中継ポンプ場電気・機械設備等の保守点検 ・更新工事：2件 ・修繕工事：1件
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
日常点検（高萩）	回	52	52	52
日常点検（秋山川）	回	365	365	366
日常点検（伊勢山）	回	52	52	52
事業費計	千円	55,006	64,749	111,691
一般財源	千円	31,281	42,963	91,836
特定財源（国・県・他）	千円	23,725	21,786	19,855
（うち受益者負担）	千円	0	0	0

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	設備の保守点検等の実施により、重大な故障に至る前に異常を発見し、修繕等を実施したため、正常な機能を確保することができた。
------------------	--

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
ポンプ場の重大な故障件数	回	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果は変わらない

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		
費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

物価や人件費等の上昇、設備の老朽化等により、事業費が上昇傾向である。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 設備の保守点検等を実施することにより、早期に異常を発見し、適切に修繕・改築を実施するなど、中継ポンプ場施設の機能確保に努める。
--	---

事業名	農業集落排水維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算科目	会計	下水道	事業計画	単年度繰返し
	課	下水道課		農業集落排水維持管理事業		款		新規or継続	継続事業
	係	下水道維持係		業		項		市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	522	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意の事業
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	浄化槽法、佐野市農業集落排水処理施設条例	事業期間	開始年度	S62	実施方法	一部委託
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	R5	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	農業集落排水の管渠、マンホール、マンホールポンプ場、処理場等が正常に機能するよう施設の維持管理を行う。 対象施設：常盤地区（常盤地区水処理センター、管渠16,170.2m、マンホールポンプ場7箇所）
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	管渠や処理場等の機能を維持することにより、農村地域の生活環境の改善、農業用排水の水質保全を図り、処理水や汚泥のリサイクルに努める。
-------------------------	---

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
処理場の放流水質基準値適合率	%	100	100	100	-	-

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・管渠の清掃延長：70m ・マンホールや公共樹の修繕件数：1件 ・管渠布設替え工事：1件（令和4年度からの繰越） ・農業集落排水処理施設維持管理業務委託：1件
--------------------------	--

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
年間処理水量	m³	98,065	79,429	71,439
污泥肥料量	m³	74	80	71
事業費計	千円	32,025	53,209	41,763
一般財源	千円	19,960	31,318	19,791
特定財源（国・県・他）	千円	12,065	21,891	21,972
（うち受益者負担）	千円	0	0	0

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	設備の保守点検等の実施により、正常な機能を確保し放流水質基準にすべて適合することができた。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
処理場の放流水質基準値適合率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果は変わらない

※ 10万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった	○	
費用の増減無し		
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和5年度末に、公共下水道への接続が完了したことにより、農業集落排水事業は廃止された。 令和6年度から、管路施設については、公共下水道事業に引き継がれ維持管理される。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 令和5年度をもって事業は終了した。
--	-------------------------------

事業名	下水道管渠維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算科目	会計	下水道	事業計画	単年度繰返し
	課	下水道課		下水道管渠維持管理事業		款		新規or継続	継続事業
	係	下水道維持係				項		市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	522	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意の事業
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	下水道法、佐野市下水道条例・施行規程	事業期間	開始年度	S51	実施方法	一部委託
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	公共下水道の管渠、マンホール、マンホールポンプ場等が正常に機能するよう施設の維持管理を行う。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	公共下水道汚水管渠等の機能を維持し、下水道使用者が快適に生活できるようにする。 公共下水道汚水管渠等の修繕・改築を適切に行うことにより、不明水量を減少させ有収率の向上を図る。
-------------------------	--

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
管渠の閉塞事故発生件数	件	0	0	0	0	0
公共下水道有収率	%	68.0	68.3	68.5	68.8	69.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・管渠の清掃延長：4,031m ・管渠のTVカメラ調査延長：3,153m ・マンホールや公共樹の修繕件数：24件（77箇所） ・管渠修繕工事等実施件数：36件
--------------------------	--

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
管渠清掃延長	m	3,103	5,116	4,031
管渠TVカメラ調査延長	m	2,007	5,366	3,153
マンホール・公共樹修繕数	箇所	87	97	77
事業費計	千円	220,214	254,147	178,078
一般財源	千円	172,668	164,547	144,478
特定財源（国・県・他）	千円	47,546	89,600	33,600
（うち受益者負担）	千円	0	0	0

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	適切な日常点検・パトロールにより、管渠が閉塞する前に発見・対応した結果、閉塞箇所数は減少した。 有収率も若干ながら向上した。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
管渠の閉塞事故発生件数	件	8	5	4	値が小さいほど良い	効果が上がった
公共下水道有収率	%	62.8	61.1	61.8	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 2指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果が上がった

※ 10万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった	○	
費用の増減無し		
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き事故防止のため、下水道施設の巡視・点検や清掃・調査に取り組み、発見された異常箇所の修繕等を適切に実施する。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 管渠等の異常を早期に発見し、適切な修繕・改築を行うことにより、管渠の閉塞や不明水を防止し、有収率の向上等を図る。
--	---

事業名	下水道管路ストックマネジメント事業	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算科目	会計	下水道	事業計画	単年度繰返し
	課	下水道課		下水道管路ストックマネジメン		款		新規or継続	継続事業
	係	下水道維持係		ト事業		項		市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	522	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意の事業
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	下水道法、佐野市下水道条例・施行規程	事業期間	開始年度	H27	実施方法	一部委託
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、管路施設の計画的な点検・調査及び改築・修繕を実施する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	公共下水道管路施設の改築・修繕を適切に行うことにより、管渠の閉塞や不明水を防止し、有収率の向上及び老朽化した管路施設の延命化を図る。
-------------------------	--

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
公共下水道有収率	%	68.0	68.3	68.5	68.8	69.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・管渠改築工事：1件 ・管渠内面補強等工事：1件 ・マンホール蓋改築工事：11件 （令和4年度からの繰越4件、令和6年度への繰越5件を含む） ・管路施設点検調査：5件 ・管渠改築工事実施設計：1件
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
管渠改築工事延長	m	226	634	28
修繕工事箇所数	箇所	80	251	196
事業費計	千円	160,226	151,228	179,448
一般財源	千円	36,876	62,038	59,178
特定財源（国・県・他）	千円	123,350	89,190	120,270
（うち受益者負担）	千円	0	0	0

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	ストックマネジメント計画に基づき、点検・調査及び修繕・改築工事等を実施し、管路施設の延命化を図った。 また、有収率は若干ながら向上した。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
公共下水道有収率	%	62.8	61.1	61.8	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果が上がった

※ 10万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった	○	
費用の増減無し		
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

物価や人件費等の上昇、施設の老朽化等により、事業費が上昇傾向である。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

取組説明	佐野市公共下水道ストックマネジメント計画（第２期）に基づき、計画的な点検・調査を実施することによって管渠等の異常を早期に発見し、適切な修繕・改築を行うことにより、管渠の閉塞や不明水を防止し、有収率の向上及び管路施設の延命化を図る。
------	---

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）

☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討

☐ 事業費の見直し検討

☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

事業名	公共下水道統合事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算科目	会計	下水道	事業計画	期間限定複数年度
	課	下水道課		公共下水道統合事業		款		新規or継続	継続事業
	係	下水道維持係				項		市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	522	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目		義務or任意	任意の事業
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	下水道法、佐野市下水道条例・施行規程、佐野市農業		開始年度	H27	実施方法	一部委託
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり	集落排水処理施設条例		終了年度	R6	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	本市の農業集落排水事業は、設備の老朽化が進み、更新工事等の多額の維持管理費用が必要になると見込まれる。そのため、並木・飯田・佐野西部・常盤の全4地区について、公共下水道への切り替えを実施し、処理場を廃止することにより、将来の維持管理経費の削減を図る。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	統合する農業集落排水事業区域を、公共下水道事業の供用開始区域とする。
-------------------------	------------------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
統合する区域の供用開始区域面積（累計）	ha	169	169	169	207	-

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	接続工事を延長1,527.7mを実施し、常盤地区の接続工事が完了した。（公共下水道汚水整備事業として実施した。） 常盤地区水処理センター改修工事に伴う実施設計1件を実施した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		接続工事の管渠延長	m	0	1,383.5	1,527.7
		改修工事実施設計	件	0	0	1
		改修工事	件	0	0	0
		事業費計	千円	0	0	1,023
		一般財源	千円	0	0	1,023
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	常盤地区の接続工事がR5年度末に完了し、R6年度より全ての農業集落排水が統合され、公共下水道として供用開始した。 並木地区：供用開始H28～（区域面積25.8ha） 飯田地区：供用開始H29～（区域面積36.4ha） 佐野西部地区：供用開始R2～（区域面積106.6ha） 常盤地区：供用開始R6～（区域面積38.0ha）
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
統合する区域の供用開始区域面積（累計）	ha	169	169	169	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果は変わらない

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった		
	費用の増減無し		
	費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

旧常盤地区水処理センターの改修工事について、適正な工事設計金額を算出し入札にかけ、工事監督を適切に行うことにより、費用対効果向上が図られる。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 旧常盤地区水処理センターの改修工事を実施し、下水道用防災資機材倉庫として後利用を開始する。
--	---

作成・更新日 令和6年8月9日

1. 基本情報

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

(2) 目的

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果 (自動判定)

※ 10万円以上の増減により判断

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 30%;">取組説明</th> <th></th> </tr> <tr> <td></td> <td>佐野市公共下水道ストックマネジメント計画（第２期）や耐水化計画に基づき、計画的な改築工事や耐水化工事を実施し、耐震対策工事の実施に向けて検討する。</td> </tr> </table>	取組説明			佐野市公共下水道ストックマネジメント計画（第２期）や耐水化計画に基づき、計画的な改築工事や耐水化工事を実施し、耐震対策工事の実施に向けて検討する。
取組説明					
	佐野市公共下水道ストックマネジメント計画（第２期）や耐水化計画に基づき、計画的な改築工事や耐水化工事を実施し、耐震対策工事の実施に向けて検討する。				